

令和８年度「運輸部門エネルギー使用合理化・非化石エネルギー転換推進事業費補助金
（新技術活用サプライチェーン全体輸送効率化・非化石エネルギー転換推進事業）」
に係る補助事業者の結果について

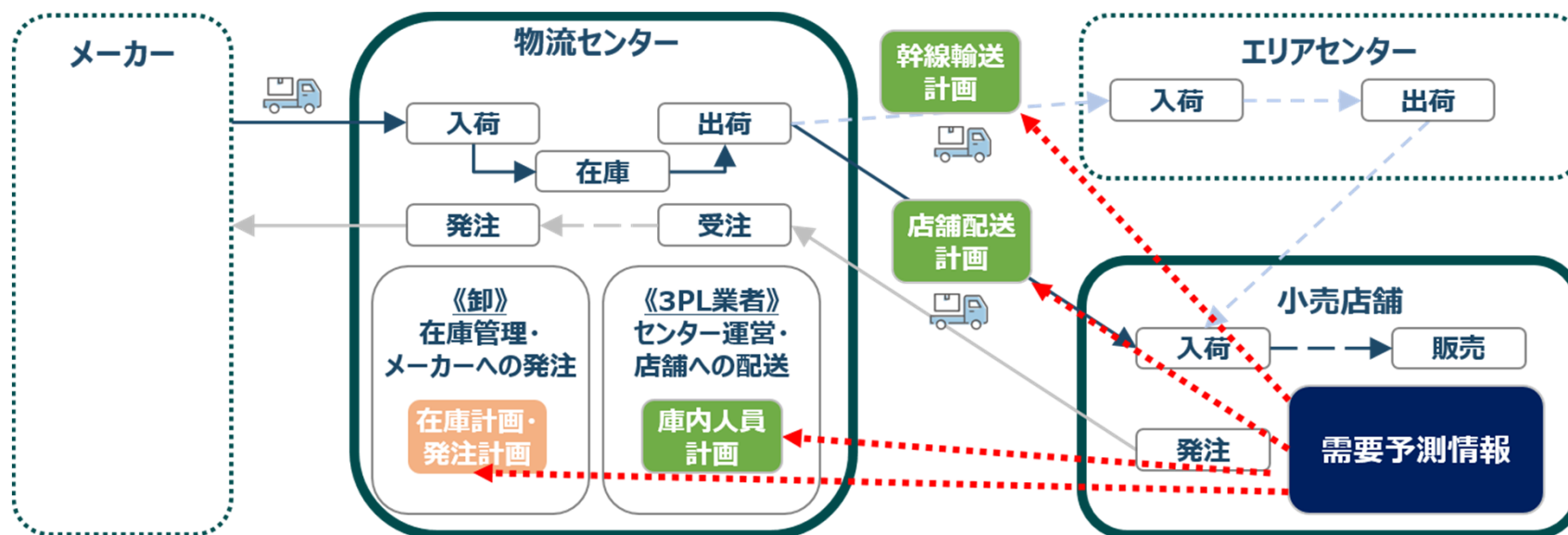
令和８年度「運輸部門エネルギー使用合理化・非化石エネルギー転換推進事業費補助金（新技術活用サプライチェーン全体輸送効率化・非化石エネルギー転換推進事業）」に係る補助事業について、公募を行い応募のあった提案について、第三者で構成される審査委員会による厳正な審査を行った結果、次のとおり補助事業者を決定しましたのでお知らせいたします。

事業者	伊藤忠商事株式会社
事業名	店舗需要予測を活用した物流センター・サプライチェーン効率化実証事業
補助対象経費	57,185,730円（補助率1/2）
事業の特徴	本事業では、小売業が保有する店舗需要予測情報を、卸売業者・センター運営・輸送事業者が利用できる共通データ基盤を構築し、これを物流計画へ活用することにより、店舗配送における積載率の向上、物流センターにおける庫内人員計画の精度向上等を通じた輸送効率化及びエネルギー消費量の削減効果を検証する。
省エネ率	▲5.50%の省エネ効果を見込む

店舗需要予測を活用した物流センター・サプライチェーン効率化実証事業

課題背景と事業概要

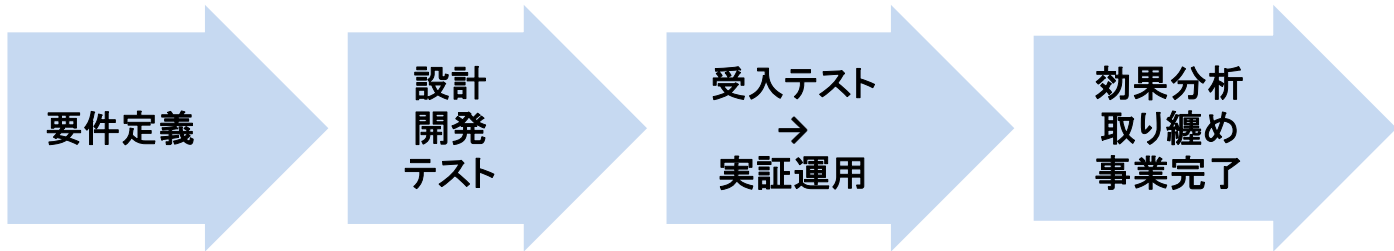
- 食品流通におけるサプライチェーンでは、**小売店舗の需要予測情報が**、卸売業者・物流センター運営事業者・輸送事業者が行う**各種物流計画に十分に活用されていない**。
- このため、各種物流計画は各事業者の過去実績や担当者の経験に依存して作成され、実際の物量と予測の差異が発生した場合には非効率が生じている。
- 本事業では、小売業が保有する店舗需要予測情報を、卸売業者・センター運営・輸送事業者が利用できる共通データ基盤を構築し、これを物流計画へ活用することにより、**店舗配送における積載率の向上、物流センターにおける庫内人員計画の精度向上等を通じた輸送効率化**及びエネルギー消費量の削減効果を検証する。



店舗需要予測を活用した物流センター・サプライチェーン効率化実証事業

事業全体計画

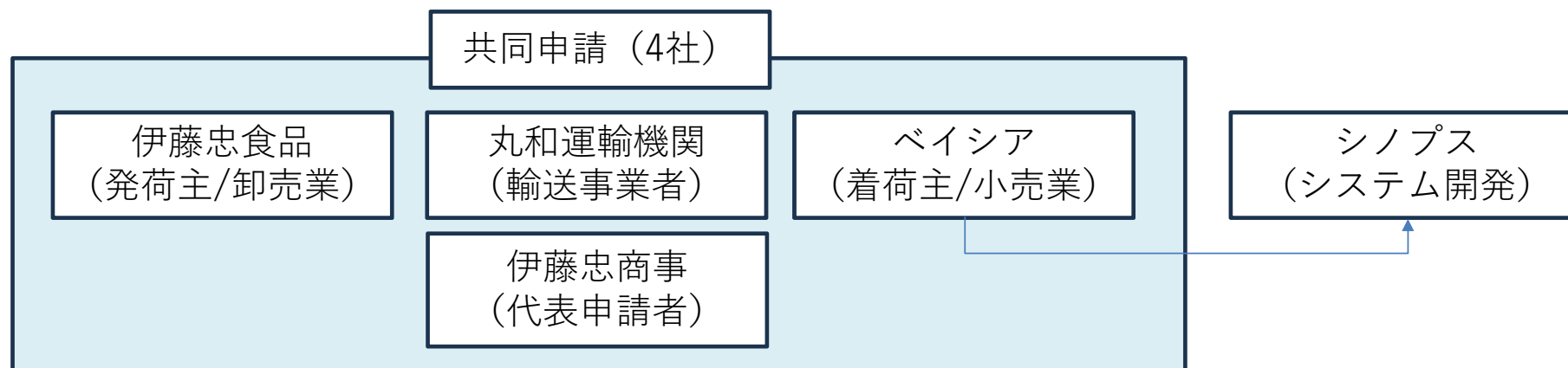
- 以下スケジュールで推進予定

区分	名称	令和8年度（2026年9月～2027年2月26日）
A	短期予測特売予測を含む共通システム	店舗の定番／特売実施時の需要予測情報を基に、特売数量予測および短期需要予測を生成し、B1、B2で利用可能な共通データとして出力するシステム
B1	センター発注システム	Aから提供される需要予測情報、センター在庫、メーカー別の発注ロット・リードタイム等の条件等を用いて、卸売業者がメーカーへ発注する数量及び時期の勧告値を生成するシステム
B2	週間予測システム	Aから提供される需要予測情報を、店舗配送における出荷形態、容積、荷姿等の物流条件に基づいて物流センターから店舗への週間出荷数量へ変換するシステム
全体スケジュール		

店舗需要予測を活用した物流センター・サプライチェーン効率化実証事業

実施体制

- 伊藤忠商事を代表申請者として、以下体制で推進予定



申請者	役割
伊藤忠商事	・ 各システムの事業者間の連携要件、開発工程、品質、及び効果検証を統括
ベイシア	・ 予測元データの提供 ・ 実証条件・KPI・目標値、業務要件、システム受入条件及び実証条件を確定
伊藤忠食品	・ センター発注勧告を確認・修正し、メーカー向け発注へ反映および実績の記録
丸和運輸機関	・ 週間出荷物量予測を庫内人員及び店舗配送計画へ利用および実績の記録